

令和2年度
教育課程研究集会
小学校 社会

奈良県教育委員会事務局 学校教育課
指導主事 野瀬 彰

本日の内容

学習指導要領（社会科）における

- 1 学習評価の基本的な考え方
- 2 学習評価の進め方
- 3 学習評価の事例研究

本日の参考資料

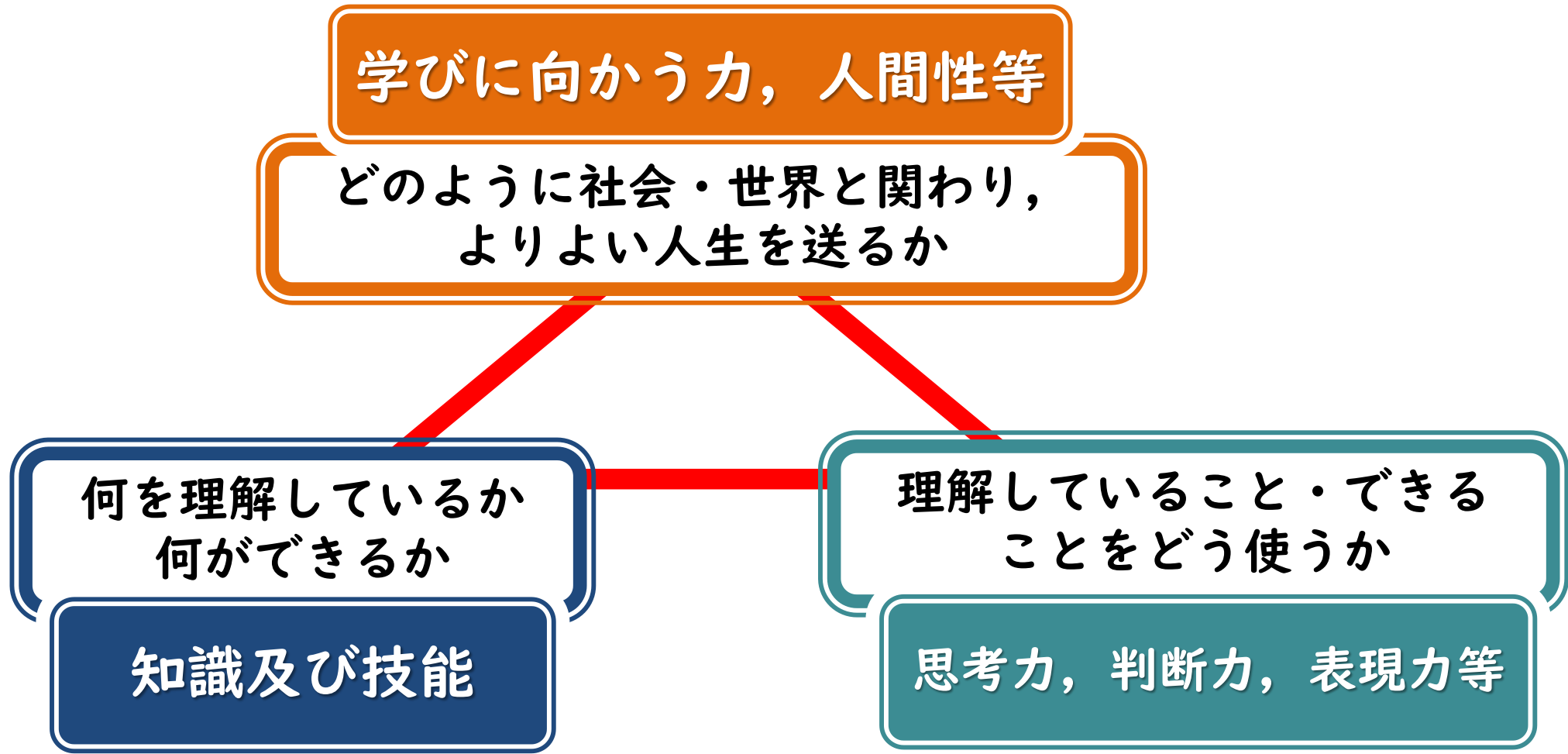
「指導と評価の一体化」 のための学習評価に関 する参考資料

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_shakai.pdf

国立教育政策研究所



育成すべき資質・能力の三つの柱



学習指導要領社会科の改訂の趣旨

小学校学習指導要領解説 社会編 P6 資質・能力の具体的な内容

- ・「知識・技能」については、社会的事象等に関する理解などを図るための**知識**と社会的事象等について調べまとめる**技能**
- ・「思考力・判断力・表現力等」については、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を**考察する力**、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて**構想する力**や、考察したことや構想したことを**説明する力**、それらを基に**議論する力**
- ・「学びに向かう力・人間性等」については、**主体的に学習に取り組む態度**と、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される**自覚**や**愛情**

社会科における内容構成の改善

【平成20年告示の学習指導要領】 第5学年 2 内容

(1) 我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。

ア 世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土

イ ウ エ 省略

【平成29年告示の学習指導要領】 第5学年 2 内容

(1) 我が国の国土の様子と国民生活について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解すること。

(イ) 省略

(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世界の大陸と主な海洋、主な国の位置、海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成などに着目して、我が国の国土の様子を捉え、その特色を考え、表現すること。

(イ) 省略

小学校社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

評価の観点の整理

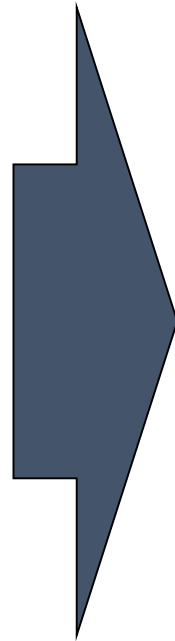
<平成20年改訂>

関心・意欲・態度

思考・判断・表現

技能

知識・理解



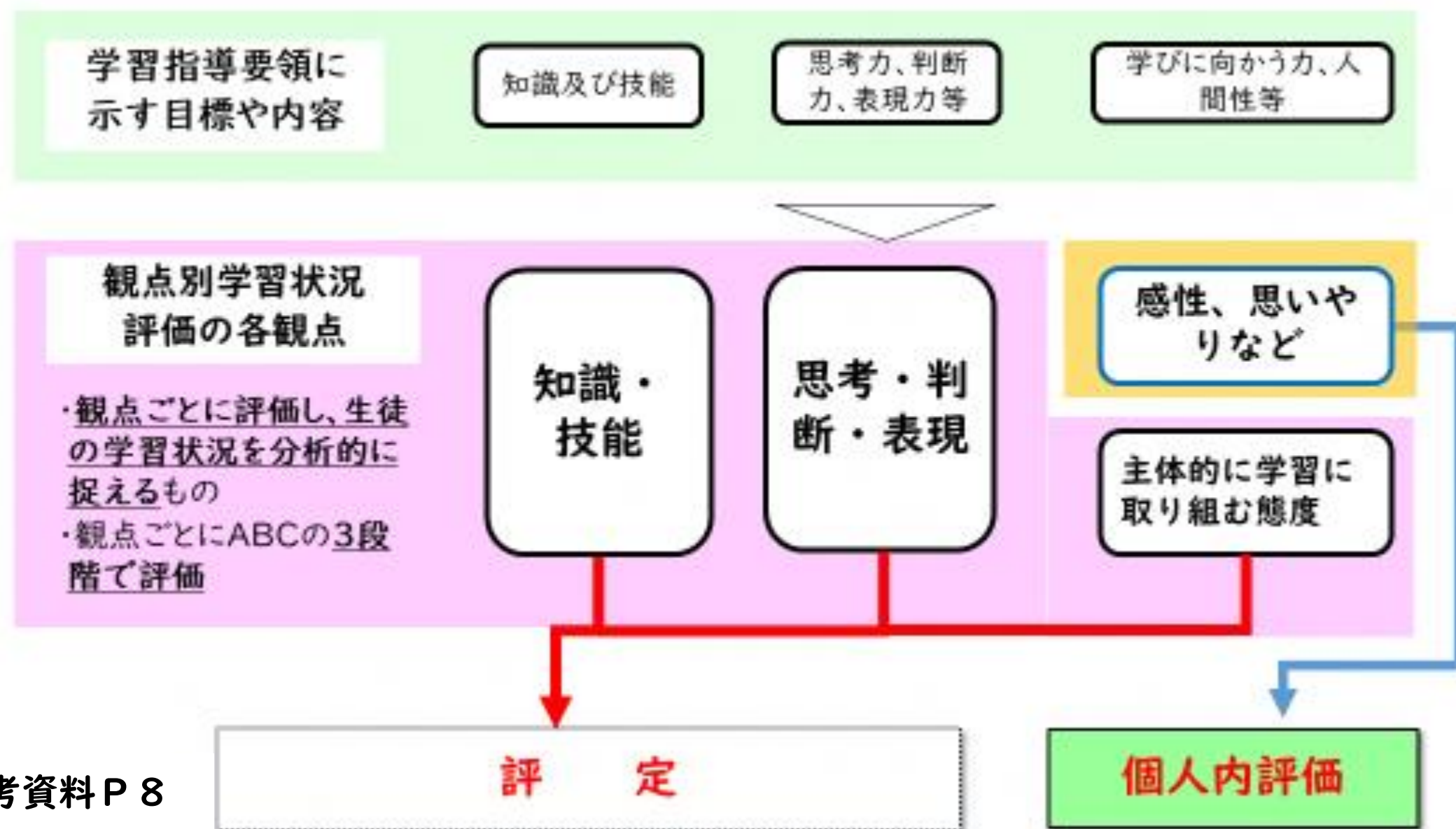
<平成29年改訂>

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に
取り組む態度

各教科における評価の基本構造



小学校社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

課題を追究したり解決したりする活動例

学習過程		具体例
課題把握	動機付け	学習課題を設定する
	方向付け	問題解決の見通しを持つ
課題追究	情報収集	予想や仮説の検証に向けて調べる
	考察・構想	社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する
		社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する
課題解決	まとめ	考察したことや構想したことをまとめる
新たな課題	振り返り	学習を振り返って考察する

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)
(中教審第197号) 別添資料より作成

学習評価の進め方の例

1 単元の目標を作成する

2 単元の評価規準を作成する

3 「指導と評価の計画」を作成する

授業を行う

4 観点ごとに総括する

単元の目標及び評価規準の関係性について(イメージ図)



小学校社会科の内容のまとめ

第3学年

- (1) 身近な地域や市区町村の様子
- (2) 地域に見られる生産や販売の仕事
- (3) 地域の安全を守る働き
- (4) 市の様子の移り変わり

第4学年

- (1) 都道府県の様子
- (2) 人々の健康や生活環境を支える事業
- (3) 自然災害から人々を守る活動
- (4) 県内の伝統や文化、先人の働き
- (5) 県内の特色ある地域の様子

第5学年

- (1) 我が国の国土の様子と国民生活
- (2) 我が国の農業や水産業
における食料生産
- (3) 我が国の工業生産
- (4) 我が国の産業と情報との関わり
- (5) 我が国の国土の自然環境と
国民生活との関連

第6学年

- (1) 我が国の政治の働き
- (2) 我が国の歴史上の主な事象
- (3) グローバル化する世界と日本の役割

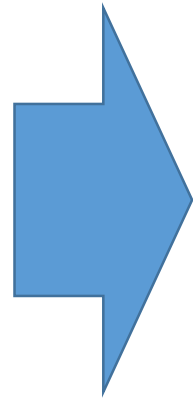
「内容のまとめりごとの評価規準」作成例

例 第4学年 (2) 「人々の健康や生活環境を支える事業」

学習指導要領 2 内容 知識及び技能

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

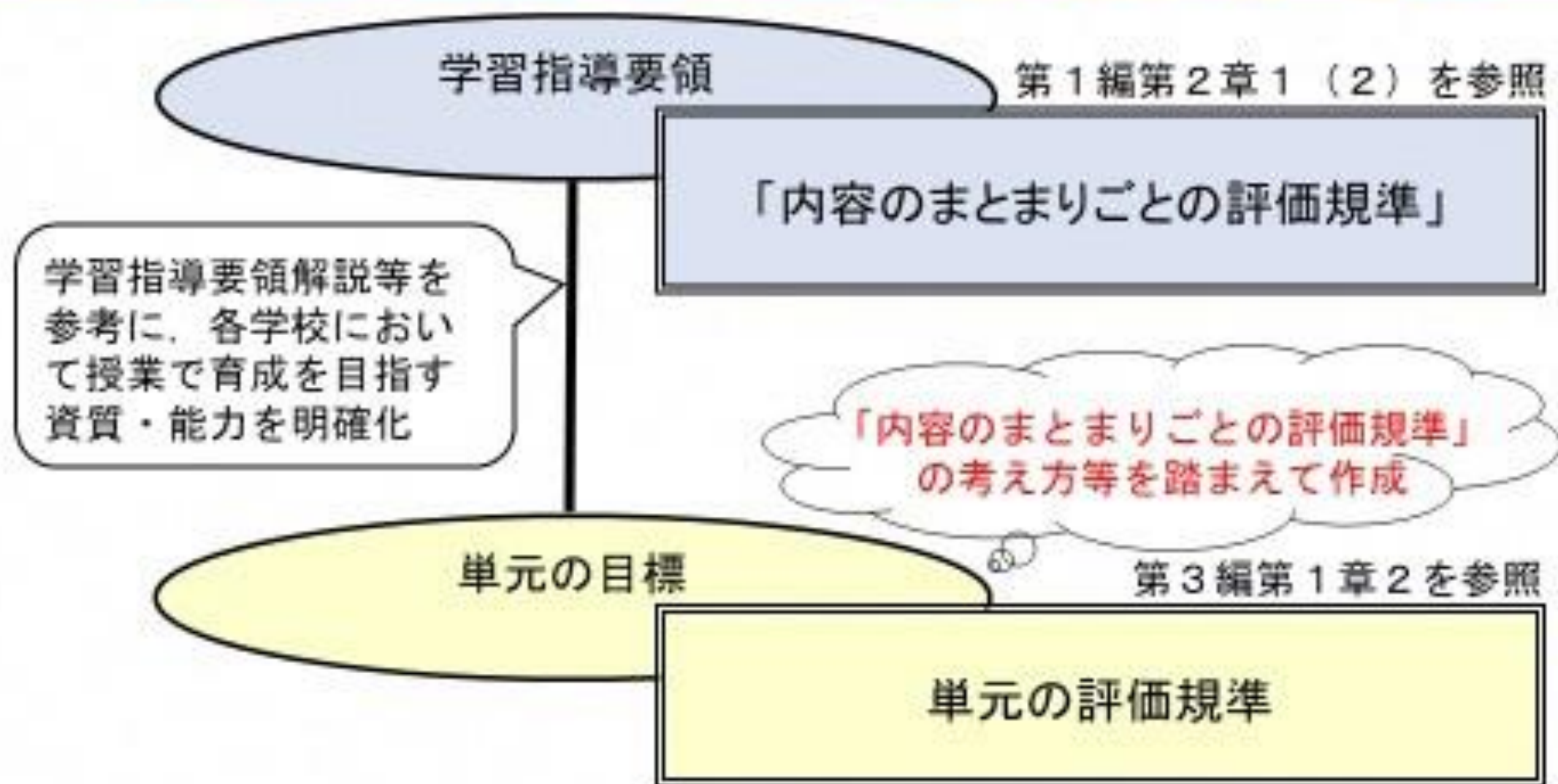
(ア) 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを**理解すること**。



内容のまとめりごとの評価規準 例 知識・技能

・ 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるように進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを**理解している**。

単元の目標及び評価規準の関係性について(イメージ図)



学習評価の進め方の例

1 単元の目標を作成する

2 単元の評価規準を作成する

3 「指導と評価の計画」を作成する

授業を行う

4 観点ごとに総括する

単元の評価規準作成のポイント

(1) 知識・技能

- ・「～を調べ、～まとめ、～理解している」などと**知識と技能を関連付けて**評価規準を作成する。

→社会科は、資料から情報を読み取り社会的事象の様子を具体的に理解すること、また、調べたことを基に考え、社会的事象の特色や意味などを理解することが大切である。

単元の評価規準作成のポイント

(2) 思考・判断・表現

①「～に**着目して、問いを見だし、～考え表現する**」

=「**追究場面**」における評価

②「～**比較・関連付け、総合などして、～考えたり、学習したことを基にして、選択・判断したりして表現する**」

=**社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする「解決場面」**における評価

単元の評価規準作成のポイント

(3) 主体的に学習に取り組む態度

□二つの側面

- ①知識及び技能や、思考力、判断力、表現力等を身に付けることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面
- ②粘り強い取組を行う中で自らの学習を調整しようとする側面

□学習過程に沿って、学習状況を捉えるように評価規準を作成する

- ①社会的事象について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり、見直したりして、学習問題を追究・解決しようとしているか
- ②よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしているか

事例Ⅰ 例 第4学年内容(2) 「廃棄物を処理する事業」

□事例の内容

- 1 単元の目標及び評価規準
- 2 指導と評価の計画
- 3 単元の目標に準拠した総括的な評価の流れを示している

□キーワード

- ・指導と評価の計画から評価の総括まで
- ・「知識・技能」の評価

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的な学習に取り組む態度
<p>①処理の仕組みや再利用，県内外の人々の協力などについて，見学・調査したり地図などの資料で調べたりして，必要な情報を集め，読み取り，廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを白地図や図表，文などにまとめ，廃棄物を処理する事業は，衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや，生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。</p>	<p>①処理の仕組みや再利用，県内外の人々の協力などに着目して，問いを見いだし，廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。</p> <p>②廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付けて廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり，学習したことを基にごみを減らすために，自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。</p>	<p>①廃棄物を処理する事業について，予想や学習計画を立て，学習を振り返ったり見直したりして，学習問題を追究し，解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基にごみを減らすために，自分たちが協力できることを考えようとしている。</p>

3 指導と評価の計画（全 10 時間）

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時間	ねらい	○主な学習活動 ・内容	□資料	評価方法と【評価規準】
1	<p>たくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習問題をつくることができるようにする。</p>	<p>○家や学校等から出るたくさんのごみのゆくえについて話し合い、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や学校，市（区町村）から出るゴミの量 ・ごみの種類や出し方 ・学習問題の設定 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> □グラフ「ごみの量や種類」（家・学校） □グラフ「市のごみの量」 □表「ごみの分別表」 □写真「ごみステーション」「ごみ収集車」「清掃工場やリサイクルセンター」 	<p>発言内容やノートの記述内容から「処理の仕組みや再利用などに着目して、問いを見いだしているか」を評価する。 【思－①】</p>

どんなねらいで

どんな活動を

どの観点を
どんな方法で見取るのか

ごみの処理にたずさわる人々は、たくさんのごみをどのようにして処理しているのでしょうか。

2	<p>学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てることができるようにする。</p>	<p>○学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てる。 ・学習問題解決に向けた予想 ・学習計画の立案 清掃工場の見学 リサイクルセンター調べ</p>	<p>□学習計画表</p>	<p>発言内容、ノートの記事内容や学習計画表から「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【能-①】</p>
3 ・ 4	<p>見学・調査したり資料で調べたりして、清掃工場が燃えるごみを処理する様子を調べることができるようにする。</p>	<p>○清掃工場が燃えるごみを処理する様子を見学・調査したり各種資料を活用したりして調べる。 ・清掃工場が燃えるごみを処理する仕組み ・清掃工場の仕事の工夫や苦勞</p>	<p>□パンフレット「清掃工場」 □清掃工場の方の話</p>	<p>ノートや見学カードへの記事内容から「必要な情報を集め、読み取り、燃えるごみを処理する仕組みなどについて理解しているか」を評価する。 【知-①】</p>
5	<p>資料を活用し、リサイクルセンターが燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する様子を調べることができるようにする。</p>	<p>○リサイクルセンターが燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する様子を各種資料で調べる。 ・燃えないごみ、資源ごみ、粗大ごみを再利用する仕組み ・リサイクルセンターの仕事の工夫や苦勞</p>	<p>□パンフレット「リサイクルセンター」 □図「リサイクルの仕組み」 □文章資料「リサイクルセンターの方の話」</p>	<p>ワークシートの記事内容や発言内容から「必要な情報を集め、読み取り、燃えないごみや資源ごみ、粗大ごみを再利用する仕組みなどについて理解しているか」を評価する。 【知-①】</p>
6	<p>見学・調査したり資料で調べたりしたことをまとめ、話し合い、学習を見直すことができるようにする。</p>	<p>○これまで調べてきたことをまとめ、さらに調べるべきことについて話し合う。 【まとめること】 ・ごみ処理の仕組みや経路 ・ごみ処理に関わる人々の働き 【さらに調べるべきこと】 ・灰の処理に関する問題</p>	<p>□これまでに活用してきた資料 □ノート □実物「灰」</p>	<p>ノートの記事内容や学習計画表から「これまでの学習を振り返り、さらに調べるべきことを見だし、見通しをもって追究しようとしているか」を評価する。 【能-①】</p>

7	市(区町村)が行っているごみ処理問題の解決策を調べ、計画的な取組について考えることができるようにする。	○市(区町村)がごみ処理問題を計画的に解決している様子を調査したり各種資料を活用したりして調べる。 ・市(区町村)が現在のごみ処理問題を解決している様子 ・市(区町村)がこれまでのごみ処理問題を解決してきた様子	□文章資料「市役所の方の話」 □写真「昔と今のごみ処理の様子」 □写真「最終処分場」	ノートの記述内容から「現在に至るまでに衛生的に処理する仕組みが作られ、計画的に改善されてきたことについて考え表現しているか」を評価する。【思-①】
8	調べたことを基に、学習問題について話し合い、ごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良い生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現することができるようにする。	○学習問題について話し合い、ごみを処理する事業の果たす役割について考える。 ・ごみ処理事業の役割についての自分の考え	□資料「学習で活用してきた資料」 □ノート	ノートの記述内容や発言内容などから「学習したことを基にごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良い生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現しているか」を評価する。【思-②】
9	調べたことをもとに、学習問題について図や文にまとめることができるようにする。	○学習問題について調べたことや話し合ったことに基づいて、ごみ処理の仕組みや経路、人々の協力関係などについて図や文にまとめる。 ・学習問題に対するまとめ	□資料「学習で活用してきた資料」 □ノート	ノートの記述内容から「廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、それらは生活環境の維持と向上に役立っていることを理解しているか」を評価する。【知-②】
10	様々な立場からごみを減らすための呼びかけをしていることについて考え、ごみを減らすために自分たちに協力できることは何か考えようとする態度を養う。	○様々な立場からごみを減らすための呼びかけをしていることについて話し合い、ごみを減らすために自分たちにできることは何か考え、発表し合う。 ○ごみを減らすために自分たちにできることについてノートに自分なりの考えをまとめる。 ・ごみを減らす呼びかけおよびその理由 ・リサイクル法 ・世界のごみ処理の様子 ・ごみを減らすために自分たちが協力できること	□文章資料「ごみ減量に関する様々な取組」「ごみの輸出」 □グラフ「一人あたりのゴミの焼却量」「世界の焼却炉の数」	ノートの記述内容や発言内容から「学習したことを基に、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現しているか」を評価する。【思-②】 ノートの記述内容から「単元の学習を振り返り、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしているか」を評価する。【態-②】

M児

【まとめ記述一部抜粋】ぼくは、ごみの学習をして、清掃工場やリサイクルプラザがなかったら、人の住める環境がなくなってしまうと思いました。ごみを出す日を決めたり、清掃工場を増やしたりして、市役所の人も色々きまりをつくっているから今の生活があるんだなと思いました。(中略) 近くの市とも協力をしているとは思いませんでした。自分も協力をしないといけないと思いました。

7	評価したことを指導にいかす			ノートの記述内容から「現在に至るまでに衛生的に処理する仕組みが作られ、計画的に改善されてきたことについて考え表現しているか」を評価する。 【思-①】
	の解決策を調べ、計画的な取組について考えることができるようにする。	様子を調査したり各種資料を活用したりして調べる。 ・市（区町村）が現在のごみ処理問題を解決している様子 ・市（区町村）がこれまでのごみ処理問題を解決してきた様子	話」 □写真「昔と今のごみ処理の様子」 □写真「最終処分場」	
8	評価したことを指導にいかす			ノートの記述内容や発言内容などから「学習したことを基にごみを処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良好な生活環境を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現しているか」を評価する。 【思-②】
	て話し合い、ごみを処理する仕組みや	果たす役割について考える。	た資料」 □ノート	
9	評価したことを記録に残す			ノートの記述内容から「廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、それらは生活環境の維持と向上に役立っていることを理解しているか」を評価する。 【知-②】
	を関連付け、ごみの処理のための事業の果たす役割を考え表現することができるようにする。			
10	評価したことを指導にいかす			ノートの記述内容や発言内容から「学習したことを基に、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現しているか」を評価する。
	て図や文にまとめることができるように	いて、ごみ処理の仕組みや経路、人々の協力関係など	た資料」 □ノート	
10	評価したことを指導にいかす			ノートの記述内容や発言内容から「単元の学習を振り返り、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えようとしているか」を評価する。 【熊-②】
	呼びかけをしていることについて考え、ごみを減らすために自分たちに協力でき	ることについて話し合い、ごみを減らすために自分たちにできることは何か考え、発表し合う。	する様々な取組」「ごみの輸出」 □グラフ「一人	
	う。	ートに自分なりの考えをまとめる。	「世界の焼却炉の数」	
	評価したことを記録に残す			
		・リサイクル法 ・世界のごみ処理の様子 ・ごみを減らすために自分たちが協力できること		



観点別評価の総括

	評価規準 [] 内数字は時数を表す	Y児	U児	M児
知識・技能 評価を行う場面や頻度の精選を踏まえ、単元を通してそれぞれの観点の実現状況が把握できる段階で、評価した結果を記録に残し、総括的な評価を行った。	【知－①】 [③④]			
	【知－①】 [⑤]			
	【知－②】 [⑨]	A	B	B
	単元の総括的な評価	A	B	B
学習過程の後半において行った評価結果を重視した。それは、最後の評価場面における評価結果は、継続的に指導を積み重ねた結果の学習状況であると捉えたからである。	【思－①】 [①]			
	【思－①】 [⑦]			
	【思－②】 [⑧]	A	B	B
	【思－②】 [⑩]			
単元の総括的な評価	A	B	B	
「主体的に問題解決しようとする態度「態－①」と、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている「態－②」という2つの態度について評価する	【態－①】 [②]			
	【態－①】 [⑥]	A	B	C
	【態－②】 [⑩]	A	A	B
	単元の総括的な評価	A	B	B

最後に

「指導と評価の一体化」 のための学習評価に関 する参考資料

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_shakai.pdf

国立教育政策研究所

